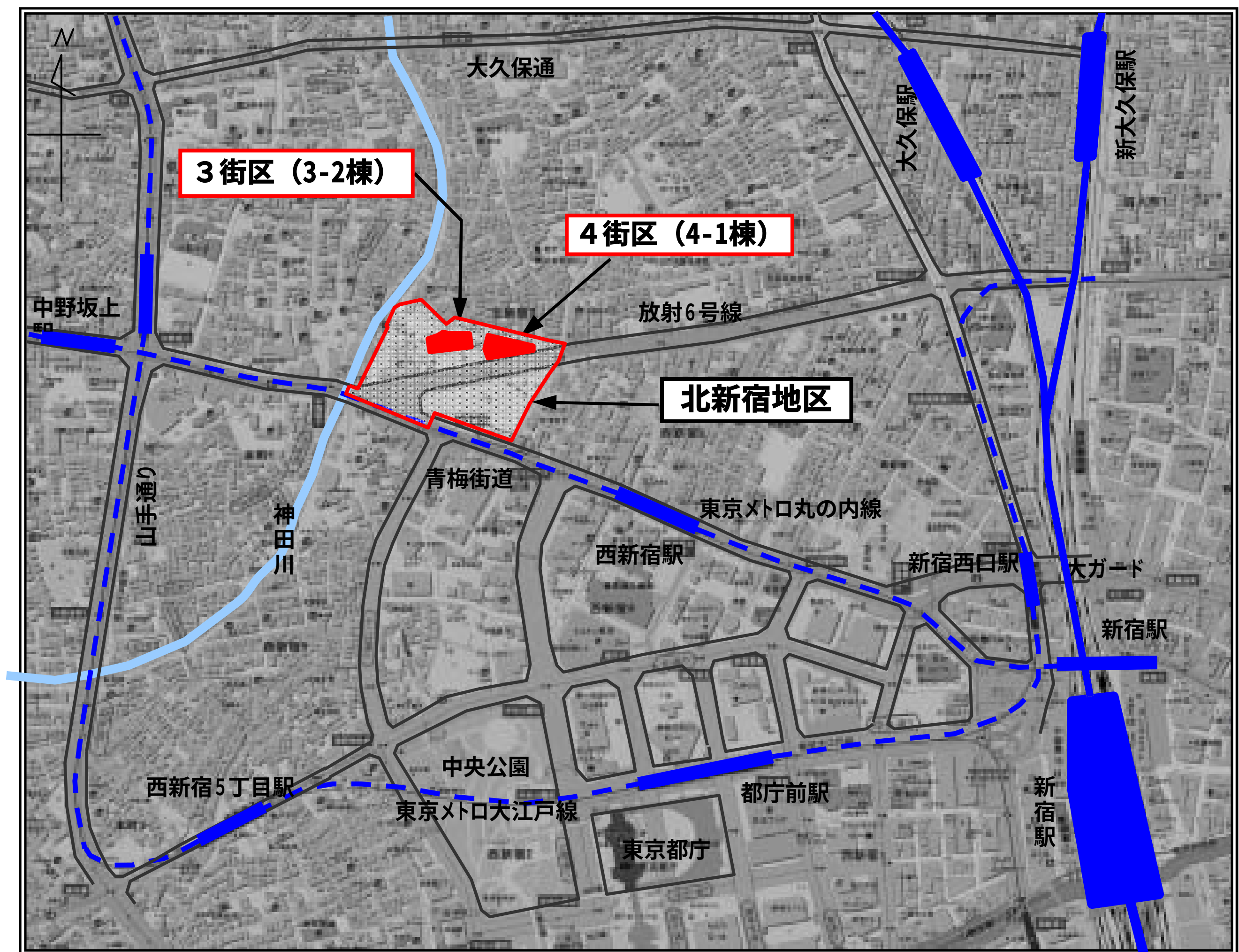
別紙２

権利床に関する概要書

1　建築物の位置

新宿区北新宿二丁目地内



2　建築物の概要

棟	３－２棟	４－１棟
構造	地上Ｓ造、地下ＲＣ造	地上Ｓ造、地下ＲＣ造
階数	地上３階、地下２階	地上４階、地下２階
最高高さ	１２ｍ	１５ｍ
敷地面積	１，５２０．００㎡	２，１３１．５５㎡
建築面積	９３６㎡	１，１５０㎡
延床面積	２，８７１㎡	５，３０９㎡
業務専有面積	１，９３２．３１㎡	３，３５２．３４㎡
区画数	１２区画	２８区画
駐車台数	７台	１７台

3　権利者取得床等の規模・用途・位置

（1）　権利者取得床等の規模・用途

３－２棟

階	区画番号	用途	専有面積 （㎡）	建設 区画数	権利床等 区画数
B2	B-201	業務	387.22	1	1
B2	B-202	業務	236.96	1	1
1	101	業務	165.90	1	
1	102	業務	164.68	1	
1	103	業務	367.95	1	1
3	301	業務	155.35	1	1
3	302	業務	53.85	1	1
3	303	業務	106.36	1	1
3	304	業務	85.06	1	
3	305	業務	40.51	1	1
3	306	業務	92.18	1	1
3	307	業務	76.29	1	1
合計			1,932.31	12	9

４－１棟

階	区画番号	用途	専有面積（㎡）	建設区画数	権利床等区画数
B2	B-201	業務	84.38	1	1
B2	B-202	業務	61.69	1	1
B2	B-203	業務	161.16	1	1
B2	B-204	業務	193.88	1	1
B2	B-205	業務	254.21	1	1
B2	B-206	業務	422.87	1	1
B1	B-101	業務	40.91	1	1
B1	B-102	業務	43.47	1	1
B1	B-103	業務	61.69	1	1
B1	B-104	業務	39.99	1	1
B1	B-105	業務	59.23	1	1
B1	B-106	業務	88.06	1	1
1	101	業務	163.92	1	
1	102	業務	122.75	1	1
1	103	業務	490.37	1	1
3	301	業務	71.98	1	1
3	302	業務	115.07	1	1
3	303	業務	100.07	1	1
3	304	業務	32.17	1	1
3	305	業務	138.00	1	1
3	306	業務	90.66	1	1
3	307	業務	43.30	1	1
4	401	業務	163.92	1	1
4	402	業務	109.64	1	1
4	403	業務	66.75	1	1
4	404	業務	44.50	1	1
4	405	業務	44.50	1	1
4	406	業務	43.20	1	1
合計			3,352.34	28	27

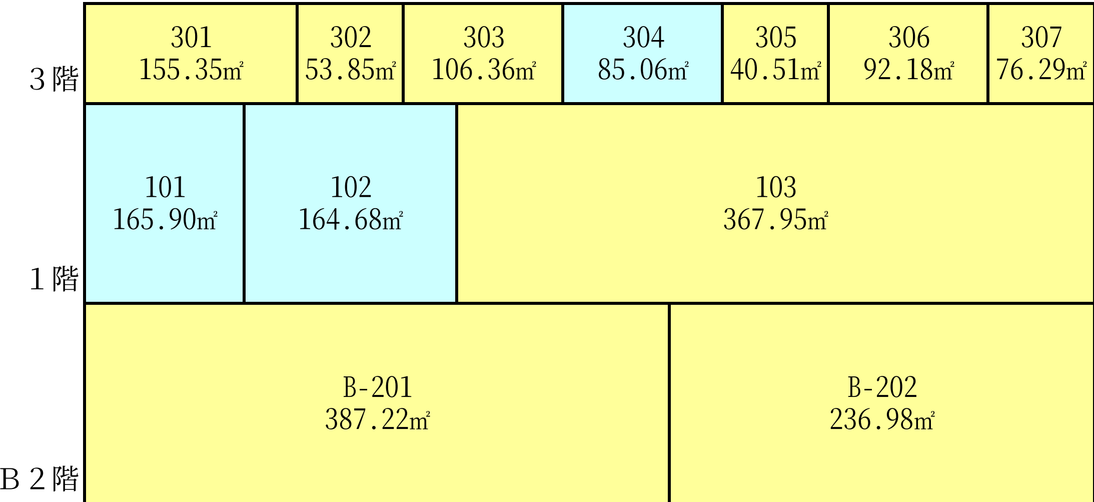
（２）　権利者取得床等の位置図

凡例

区画番号 専有面積（黄色）・・・・権利床等の区画

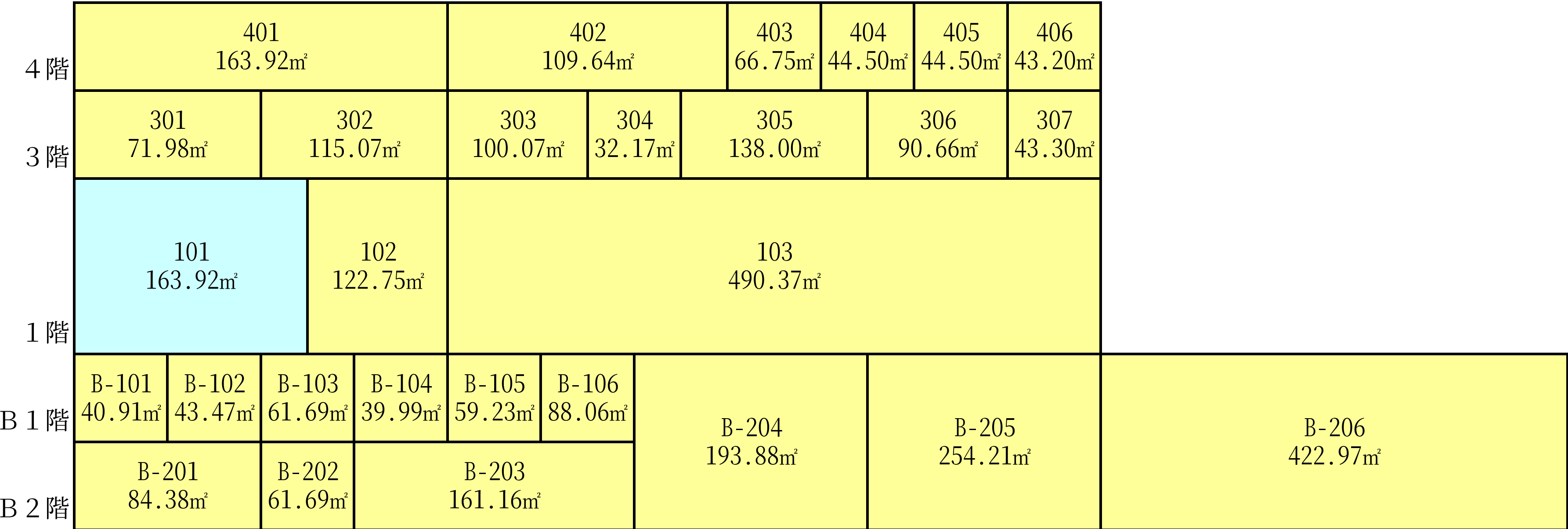
区画番号 専有面積（水色）・・・特定建築者の区画

３－２棟



※　Ｂ２階及び１階の区画は２層吹き抜けとなっています。

４－１棟



※　Ｂ２階の一部及び１階の区画は２層吹き抜けとなっています。

４　主な標準仕上げ・仕様表

《３－２棟》

（１）建築概要

1	構造・規模 (階数)	地下階：鉄骨鉄筋コンクリート造（２F） 地上階：鉄骨造（３F）	

（２）外部仕上げ表

1	外構塗装	公開空地：透水性舗装（インターロッキング） 駐車場：透水性アスファルト舗装	
2	屋根	改質アスファルトシート・ウレタン脱気絶縁複合防水 一部複合塗膜防水 一部屋上緑化 避難階段出入口棟：複合塗膜防水	
3	外壁	t=150ALC 板　縦貼り工法　吹き付けタイル（弾性） 避難階段出入口棟：コンクリート打放　撥水材塗布	
4	床	サービスデッキ：t=150RC　防滑性ビニルシート ポーチ：t=20 御影石 600 角	
5	開口部	スタジオ窓：アルミサッシ（二重）　ガラス t=10 網入り 外側（遮音性 T-3　耐風圧 S-6）　内側（遮音性 T-2） その他窓：アルミサッシ（シングル）　ガラス t=6.8 網入り(2.2 ㎡以上は t=10 網入り）　遮音性 T-3　耐風圧 S-6	

（３）内部仕上げ表

１階	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ 廊下	床	t=20 セルフレベリング　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　左官壁仕上げ（マジックコート程度）	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
各階 ３階	EV ﾎｰﾙ(1F 除く） 廊下(1F 階除く） ラウンジ	床	t=15 セルフレベリング　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
各階	便所	床	t=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニル床シート貼り上げ	
		壁	プラスターボード　t=5 化粧フレキ板貼	
		天井	化粧プラスターボード	

各階	湯沸し・更衣室 事務スペース	床	t=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス	
		天井	化粧プラスターボード	
	階段室	床	t=40 モルタル　防滑性ビニルシート	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　VP	
		天井	化粧プラスターボード	
各階	機械室	床	t=120 シンダーコンクリート　ｳﾚﾀﾝ系塗床塗布	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	t=125ALC 板　t=25 ﾛｯｸｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ﾋﾟﾝ止工法	
		天井	t=9.5 プラスターボード t=25 ﾛｯｸｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ﾋﾟﾝ止工法	
１階	ゴミ保管庫 再利用保管庫	床	ウレタン系塗床材塗布	
		巾木	塗床材塗り上げ	
		壁	t=125ALC 板　素地	
		天井	t=9.5 化粧プラスターボード	
	地下外周壁 (地中４周)	外壁	構造体シームレス防水　先やり工法	
		内壁	t=120 防水 CB 積み	
各階	スタジオ	床	ユニットフロア(LL45,LH50) t=15 ベニヤ捨貼り　t=15～18 フローリング	
		巾木	堅 木、ＯＰ	
		壁	［1］遮音壁 ①外壁側壁：t=120　t=50 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 遮音シート(1.2 以上、面密度 3.2Kg/㎡以上) t=9.5+15 プラスターボード ②隣ｽﾀｼﾞｵ界壁：t=270 以上 遮音性能 TLD-66 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ③その他壁：t=210 以上 遮音性能 TLD-60 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ［2］吸音壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(上部 FL2000 以上:t=50 不燃ｸﾛｽ貼り)	

		天井	t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=9.5 プラスターボード HCTSH2 枚貼 t=25 化粧グラスウールボード	
B2 階	大スタジオ	床	ユニットフロア(LL45,LH50) t=15 ベニヤ捨貼り　t=15～18 フローリング	
		巾木	堅木、ＯＰ	
		壁	［１］遮音壁 ①外壁側壁：t=120　t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 遮音シート(1.2 以上、面密度 3.2Kg/㎡以上) t=9.5(PB-HCTSH)+15（PB-HCGZ） プラスターボード ②隣ｽﾀｼﾞｵ界壁：t=270 以上 遮音性能 TLD-66 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ③その他壁：t=210 以上 遮音性能 TLD-60 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ［２］吸音壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(上部 FL2000 以上:t=50 不燃ｸﾛｽ貼り)	
		天井	t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(2 層)　t=9.5 プラスターボード HCTSH2 枚貼　t=25 グラスウールボード　t=25 化粧グラスウールボード	
１階	事務所	床	ユニットフロア(LL45,LH50 事務所対応仕様) t=12 合板 2 枚貼　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
３階	倉庫	床	T=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード	
		天井	t=9.5 化粧プラスターボード	

（4）設備仕様

1	受変電設備	受電方式：普通高圧 3φ3W6.6kV50Hz 1 回線 地中引き込み。屋上に屋外型キュービクル設置。 油入式変圧器　単相 225kVA 程度、三相 300kVA 程度。 自動力率調整	キュービクルは一般型
2	非常用発電機設備	屋上に屋外型ディーセル発電機設置（60kVA 程度）。 低騒音仕様。運転時間は法規に準ずる。 防災負荷、保安負荷に電源を供給。	
3	幹線・動力設備	屋外受変電設備より館内電灯分電盤及び動力盤等へ電源供給。警報盤設置。 CE・CET・FP ケーブル　ケーブルラック布設配線方式	
4	電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備	各電灯分電盤より配管・配線 二重天井内：ケーブル配線 ｽｲｯﾁ・ｺﾝｾﾝﾄ等の壁柱床内：埋込配管配線 一般事務室それに類する部屋：埋込照明器具 コンセント：スタジオ 0.06 個/m2 照度：スタジオ 100～500Lx４段切替、事務所 700Lx 非常用照明（蓄電池内蔵）、誘導灯（蓄電池内蔵）設置	
5	電話設備	館内 MDF まで配管を布設。MDF から配管またはケーブルラックにて EPS 内に布設。電話端子盤は各階に設置。MDF 端子板と IDF 間ケーブル挿入と端子処理を行う。各端子盤から居室へのケーブル挿入・モジュラージャック取り付けを行う。	
6	拡声設備	一般業務放送設備設置。アンプ容量 160W程度。 全館にスピーカー設置。	
7	ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備	各スタジオと事務所間通話用にｲﾝﾀｰﾎﾝ設置。 夜間受付用ｲﾝﾀｰﾎﾝ、エレベーターインターホンの設置。身障者用便所にトイレ呼び出し表示設備を設ける。	
8	テレビ共聴設備	UHF/BS/CS110°アンテナ設置。 CATV 引込み配管設備。 事務所、各スタジオ、待合ホールにアウトレット設置。	
9	防犯設備	機械警備ための防犯センサー用空配管の設置。	
１０	自動火災報知・防排煙連動設備	Ｐ型１級受信機設置。法に準拠して感知器を設置。	

１１	給水設備	給水本管より引込み、受水槽に貯留後、加圧給水方式にて必要箇所に給水。 受水槽（呼称 30m3 程度）は地下ピット内に、加圧給水ポンプユニット（給水量 350L/min 程度）は地下２階機械室に設置。	
１２	給湯設備	貯湯式電気温水器（飲雑用兼用型、貯湯量 25L 程度）にて湯沸室に給湯。	
１３	排水通気設備	建物内は汚水、雑排水の合流式、屋外は汚水、雨水の分流式。汚水、雨水とも、前面道路の公共下水道に放流。 新宿区要綱に基づき、雨水流出抑制施設として地下ピットに雨水貯留槽設置（貯留槽は建築工事）。屋根面への降雨が貯留できるようにすること。（詳細は新宿区との協議による。） 地下部の排水として、汚水ポンプ、湧水ポンプ、緊急雨水排水ポンプを適宜設置。	
１４	衛生器具設備	大便器：洋風大便器、普通便座、節水型フラッシュバルブ、紙巻器 小便器：感知フラッシュバルブ一体型壁掛式小便器 洗面器：アンダーカウンター式洗面器、単水栓 湯沸流し：混合水栓（流しは建築工事） 掃除流し：バック付掃除流し、単水栓 散水栓：キー付散水栓（水栓柱に取付） 身障者用トイレ：身障者用大便器、壁掛手洗器、自動水栓	
１５	消火設備	屋内消火栓設備（1 号、全館）、連結散水設備（地下 2 階） 消火水槽は地下ピットに、消火ポンプは地下 2 階機械室に、補助高置水槽は屋上に設置。	
１６	空調設備	空調設備は個別熱源方式とする。 スタジオ・共用部 　空冷ヒートポンプマルチエアコン（冷暖切替型） 　室内機は天井カセット型 １階事務室 　空冷ヒートポンプ式個別エアコン 　室内機は天井カセット型 室外機はサービスデッキ又は屋上に設置する。 室用途と換気量に応じた容量とすること。	

１７	換気設備	用途に応じて系統ごとに換気。 第１種換気：スタジオ、事務室、機械室 第３種換気：トイレ、湯沸室、ゴミ保管庫、倉庫等 居室の換気は加湿器付全熱交換器による。 スタジオの騒音により敷地外部に大きな影響を与えないよう、消音を考慮した計画とすること。	
１８	排煙設備	地階の居室等を対象に機械排煙設備を設置。 排煙ファンは屋上に設置。	
１９	自動制御設備	雨水貯留槽の水位により雨水貯留槽流入弁の開閉及び緊急雨水排水ポンプの制御を行う。	

（５）運搬機械設備仕様

1	エレベーター	マシンルームレスエレベータ 乗用 24 人乗り 60m/min、出入口幅Ｗ＝1200 身障者対応	

《４－１棟》

（１）建築概要

1	構造・規模 (階数)	地下階：鉄骨鉄筋コンクリート造（２F） 地上階：鉄骨造（４F）	

（２）外部仕上げ表

1	外構塗装	公開空地：透水性舗装（インターロッキング） 駐車場：透水性アスファルト舗装	
2	屋根	ガルバリウム鋼板葺き屋根（瓦棒） 一部改質アスファルトシート･ウレタン脱気絶縁複合防水 一部複合塗膜防水 一部屋上緑化 避難階段出入口棟：複合塗膜防水	
3	外壁	t=150ALC 板　縦貼り工法　吹き付けタイル（弾性）	
4	床	サービスデッキ：t=150RC　防滑性ビニルシート ポーチ：タイル貼り サービスエントランス：100 角ピンコロ敷き	
5	開口部	スタジオ窓：アルミサッシ（二重）　ガラス t=10 網入り 　外側（遮音性 T-3　耐風圧 S-6）　内側（遮音性 T-2） その他窓：アルミサッシ（シングル）　ガラス t=6.8 網入 　り(2.2 ㎡以上は t=10 網入り）　遮音性 T-3　耐風圧 S-6	

（３）内部仕上げ表

1階	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ 廊下	床	t=20 セルフレベリング　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　左官壁仕上げ	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
各階 3階	EV ﾎｰﾙ(1F 除く） 廊下(1F 階除く） ホール	床	t=15 セルフレベリング　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
1階 3階	待合室 ロビー･ラウンジ	床	t=15 セルフレベリング　t=3 ビニル床タイル	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス アルミ枠ガラスパーテーション(3+3 合せガラス)	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	

各階	便所	床	t=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニル床シート貼り上げ	
		壁	プラスターボード　t=5 化粧フレキ板貼	
		天井	化粧プラスターボード	
各階	湯沸し・更衣室 事務スペース	床	t=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニル床シート貼り上げ	
		壁	プラスターボード　t=5 化粧フレキ板貼	
		天井	化粧プラスターボード	
	階段室	床	t=40 モルタル　防滑性ビニルシート	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　VP	
		天井	（不燃）化粧プラスターボード	
各階	機械室	床	t=120 シンダーコンクリート　ｳﾚﾀﾝ系塗床塗布	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	t=125ALC 板　t=25 ﾛｯｸｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ﾋﾟﾝ止工法	
		天井	t=9.5 プラスターボード t=25 ﾛｯｸｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ　ﾋﾟﾝ止工法	
１階	ゴミ保管庫 再利用保管庫	床	ウレタン系塗床材塗布	
		巾木	塗床材塗り上げ	
		壁	t=125ALC 板　素地	
		天井	t=9.5 化粧プラスターボード	
	地下外周壁 (地中４周)	外壁	構造体シームレス防水　先やり工法	
		内壁	t=120 防水 CB 積み	
各階	スタジオ (大ｽﾀｼﾞｵ除く)	床	ユニットフロア（LL45,LH50）ｔ＝15　ベニヤ捨貼り　フローリング	
		巾木	堅木、ＯＰ	

		壁	［1］遮音壁 ①外壁側壁：t=120　t=50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 遮音シート(1.2 以上、面密度 3.2Kg/㎡以上) t=9.5+15 プラスターボード ②隣ｽﾀｼﾞｵ界壁：t=270 以上 遮音性能 TLD-66 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ③その他壁：t=210 以上 遮音性能 TLD-60 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ［2］吸音壁 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(上部 FL2000 以上:t=50 不燃ｸﾛｽ貼り)	
		天井	t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=9.5 プラスターボード HCTSH2 枚貼 t=25 化粧グラスウールボード	
B2 階	大スタジオ	床	t=20 セルフレベリング　t=4 塩ビタイル貼	
		巾木	堅木、ＯＰ	
		壁	［1］遮音壁 ①外壁側壁：t=135　t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 遮音シート(1.2 以上、面密度 3.2Kg/㎡以上) t=9.5(2 枚)+21 プラスターボード ②隣ｽﾀｼﾞｵ界壁：t=300 以上 遮音性能 TLD-72 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ③その他壁：t=270 以上 遮音性能 TLD-66 以上 両面共ボード積層貼　乾式構造壁 ［2］吸音壁 t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　t=12.5 有孔プラスターボード ﾋﾞﾆﾙﾚｰｻﾞｰ貼り(上部 FL=2200 以上: t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　ｶﾞﾗｽｸﾛｽﾈｯﾄ貼)	
		天井	t=50+50ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(2 層)　t=9.5 プラスターボード HCTSH3 枚貼　t=25 グラスウールボード　t=25 化粧グラスウールボード	
１階	事務所	床	ユニットフロア(LL45,LH50 事務所対応仕様) t=12 合板 2 枚貼　t=3 ビニル床タイル	

		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード　ビニルクロス	
		天井	t=9.5 プラスターボード　t=12 岩綿吸音板	
各階	倉庫	床	T=10 セルフレベリング　t=2.5 ビニル床シート	
		巾木	ビニルソフト	
		壁	プラスターボード	
		天井	t=9.5 化粧プラスターボード	

（4）設備仕様

1	電源設備	受電方式：普通高圧 3φ3W6.6kV50Hz 1 回線 地中引き込み。地上外構部に屋外型キュービクル設置。 油入式変圧器　単相 400kVA 程度、三相 500kVA 程度。 自動力率調整	キュービクルは一般型
2	非常用発電機	屋上に屋外型ディーセル発電機設置（80kVA 程度）。 低騒音仕様。運転時間は法規に準ずる。 防災負荷、保安負荷に電源を供給。	
3	幹線・動力設備	屋外受変電設備より館内電灯分電盤及び動力盤等へ電源供給。警報盤設置。 CE・CET・FP ケーブル　ケーブルラック布設配線方式	
4	電灯ｺﾝｾﾝﾄ設備	各電灯分電盤より配管・配線 二重天井内：ケーブル配線 ｽｲｯﾁ・ｺﾝｾﾝﾄ等の壁柱床内：埋込配管配線 一般事務室それに類する部屋：埋込照明器具 コンセント：スタジオ 0.06 個/m2 照度：スタジオ 100～500Lx４段切替、事務所 700Lx 非常用照明（蓄電池内蔵）、誘導灯（蓄電池内蔵）設置	
5	電話設備	館内 MDF まで配管を布設。MDF から配管またはケーブルラックにて EPS 内に布設。電話端子盤は各階に設置。MDF 端子板と IDF 間ケーブル挿入と端子処理を行う。各端子盤から居室へのケーブル挿入・モジュラージャック取り付けを行う。	
6	拡声設備	一般業務放送設備設置。アンプ容量 240W程度。 全館にスピーカー設置。	
7	ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備	各スタジオと事務所間通話用にｲﾝﾀｰﾎﾝ設置。 夜間受付用ｲﾝﾀｰﾎﾝ、エレベーターインターホンの設置。身障者用便所にトイレ呼び出し表示設備を設ける。	

8	テレビ共聴設備	UHF/BS/CS110°アンテナ設置。 CATV 引込み配管設備。 事務所、各スタジオ、待合ホールにアウトレット設置。	
9	防犯設備	機械警備ための防犯センサー用空配管の設置。	
１０	自動火災報知･防排煙連動設備	Ｐ型１級受信機設置。法に準拠して感知器を設置。	
１１	給水設備	給水本管より引込み、受水槽に貯留後、加圧給水方式にて必要箇所に給水。 受水槽（呼称 45m3 程度）は地下ピット内に、加圧給水ポンプユニット（給水量 500L/min 程度）は地下２階機械室に設置。	
１２	給湯設備	貯湯式電気温水器（飲雑用兼用型、貯湯量 25L 程度）にて湯沸室に給湯。	
１３	排水通気設備	建物内は汚水、雑排水の合流式、屋外は汚水、雨水の分流式。汚水、雨水とも、前面道路の公共下水道に放流。 新宿区要綱に基づき、雨水流出抑制施設として地下ピットに雨水貯留槽設置（貯留槽は建築工事）。屋根面への降雨が貯留できるようにすること。（詳細は新宿区との協議による。） 地下部の排水として、汚水ポンプ、湧水ポンプ、緊急雨水排水ポンプを適宜設置。	
１４	衛生器具設備	大便器：洋風大便器、普通便座、節水型フラッシュバルブ、紙巻器 小便器：感知フラッシュバルブ一体型壁掛式小便器 洗面器：アンダーカウンター式洗面器、単水栓 湯沸流し：混合水栓（流しは建築工事） 掃除流し：バック付掃除流し、単水栓 散水栓：キー付散水栓（水栓柱に取付） 身障者用トイレ：身障者用大便器、壁掛手洗器、自動水栓	
１５	消火設備	屋内消火栓設備（1 号、地上階）、スプリンクラー設備（地下階、補助散水栓併設）、移動式粉末消火設備（機械式駐車場） 消火水槽は地下ピットに、消火ポンプは地下 2 階機械室に、補助高置水槽は屋上に設置。	

１６	空調設備	空調設備は個別熱源方式とする。 　空冷ヒートポンプマルチエアコン（冷暖切替型） 　室内機は天井カセット型 室外機はサービスデッキ又は屋上に設置する。 室用途と換気量に応じた容量とすること。	
１７	換気設備	用途に応じて系統ごとに換気。 第１種換気：スタジオ、事務室、機械室 第３種換気：トイレ、湯沸室、ゴミ保管庫、倉庫等 居室の換気は加湿器付全熱交換器による。 スタジオの騒音により敷地外部に大きな影響を与えないよう、消音を考慮した計画とすること。	
１８	排煙設備	地下 2 階の居室等を対象に機械排煙設備を設置。 排煙ファンは屋上に設置。	
１９	自動制御設備	雨水貯留槽の水位により雨水貯留槽流入弁の開閉及び緊急雨水排水ポンプの制御を行う。	

（５）運搬機械設備仕様

1	エレベーター設備	マシンルームレスエレベーター 乗用 24 人乗り 60m/min 貫通型二方向出入口　出入口幅W＝1200　身障者対応	
2	機械駐車設備	地上２段昇降式　７連	

５　設計・施工に当たっての遵守事項

①参考図に示す仕様・性能等を満たすとともに、各種法令等に適合すること。

②仕上げ、仕様等の特記が無い箇所は、類似室等に準ずること。

③権利者が行う丙工事については、同時竣工となるように調整、協力をすること。

④維持管理の省エネルギー化及びリサイクル性を考慮すること。

⑤使用した建材及び機器について、メーカー名、商品名、試験成績表、取扱説明書等を整理した提出書類の副本、検査証等の写しを東京都へ提出すること。

⑥揮発性有機化合物の室内濃度を第三者に委託のうえ測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認すること。

⑦設計に際し、別途に示す外部騒音予測値に基づき、居室内部における透過騒音レベルが４０ｄＢ（Ａ）以下となるよう計画すること。なお、竣工時には騒音測定を行い、所定の遮音性能が確保されていることを確認し東京都へ報告すること。

⑧工事完了後は、施設の取扱い及び機器の運転について、管理組合等に対し、実務運転指導を行うこと。

⑨「市街地再開発事業におけるヒートアイランド対策施設整備指針」に基づきヒートアイランド対策に積極的に取り組むこと。